

酒田市食育・地産地消推進計画
（酒田市6次産業化戦略）
〔本 編〕

「人生 100 年時代」の食生活を目指して

「酒田市食育推進計画」が平成 19 年に施行されてから、この度第 4 次の計画を策定することとなりました。今回はこれまでの推進計画に基づいた取り組みによる成果を確認し、今後の計画推進に向けた課題発見のため、市民のみなさんを対象に食育・地産地消に関するアンケート調査を実施しました。その結果、従来課題となっていた若年世代の朝食の欠食率や女性の成人やせの割合が改善されるなど、これまでの取り組みが一定の成果をあげているのがわかりました。その一方で、依然男性の肥満者割合が高い水準にあるほか、消費者のニーズを把握するための交流活動や地場産農林水産物の普及活動など、解決すべき課題が具体的に見えてきました。

また現在、持続可能な開発目標（SDGs）、ウィズ・ポストコロナへの対応、社会のデジタル化への配慮など世界規模での課題と、私たちは日常生活の中で向き合わねばなりません。特に食生活では食品ロスへの対応を含むエシカル消費（環境に配慮した消費行動）は SDGs の達成につながりますし、コロナ禍による家族と共に食卓を囲む機会の増加は、より豊かで楽しい食卓を創るチャンスでもあります。また SNS などの普及に伴う社会のデジタル化は、地元産食材や地域の特産品、6 次産業化による新商品を全国にアピールする多様な手段を与えてくれます。

「人生 100 年時代」、その 100 年を心身ともにいかに健康に過ごすか、それが問われているのが現代です。そしてその健康を維持促進する根幹となるのが「食」であると、私たち計画策定に関わった者は考えております。なにとぞ皆様にはご理解をいただき、本計画とその実践が実り多きものとなりますよう、ご尽力いただけますよう宜しくお願いいたします。

酒田市食育・地産地消推進委員会委員長

東北公益文科大学 准教授 渡辺 暁雄

目次【本編】

◆ 「酒田市食育・地産地消推進計画（酒田市6次産業化戦略）」の概要	
1 酒田市食育・地産地消推進計画の策定にあたって	1
(1) 計画策定の趣旨・基本理念	1
(2) 計画の位置づけ	2
(3) 計画期間	2
(4) 計画の推進	2
2 食育・地産地消を巡る現状と課題	4
(1) 食を楽しむ、食から健康をつくる	4
(2) 食を学び、食を受け継ぐ	7
(3) 食を知り、食に感謝する	9
(4) 食を誇り、食を発信する	11
3 食育・地産地消推進のための施策の柱	13
(1) 食を楽しむ、食から健康をつくる	13
(2) 食を学び、食を受け継ぐ	15
(3) 食を知り、食に感謝する	16
(4) 食でつながり、食を発信する	17
4 食の魅力をも高める6次産業化の推進（酒田市6次産業化戦略）	18
(1) 趣旨	18
(2) 現状と課題	18
(3) 取組方針	19
5 具体的な施策	22
(1) 食を楽しむ、食から健康をつくる	22
(2) 食を学び、食を受け継ぐ	26
(3) 食を知り、食に感謝する	27
(4) 食でつながり、食を発信する	28
6 酒田市食育・地産地消推進計画（酒田市6次産業化戦略）の達成状況	29
(1) 食育・地産地消	30
(2) 6次産業化	36
7 食育・地産地消及び6次産業化の推進における数値目標	38
(1) 食育・地産地消	38
(2) 6次産業化	39